

令和3年1月13日

独立行政法人 日本スポーツ振興センター

JSC拠点における新型コロナウイルス感染者の発生について

日本スポーツ振興センター（JSC/東京都港区北青山）が管理・運営する、ハイパフォーマンススポーツセンター（HPS C/東京都北区西が丘）の施設利用者（1名）が、新型コロナウイルスに感染していることが1月11日に判明しました。

当該施設利用者は、1月4日から1月6日までHPS C内のナショナルトレーニングセンター屋内トレーニングセンター・イースト（NTCイースト）を利用していました。

これに伴い、当該施設利用者の行動範囲を確認し、1月11日より念のため当該施設利用者が利用していたNTCイースト内の専用練習場は利用を中止していましたが、保健所により施設内に濃厚接触者がいないことが確認され、施設利用については施設側の判断に委ねるとのことから、清掃・消毒作業を行った上で、昨日1月12日午後から利用可能としています。

なお、他のHPS C各施設の利用は継続しています。

現時点でHPS Cの他の施設利用者、関係者から体調不良の報告はありません。

今後、保健所と連携をするなど、感染拡大を防止するため適切に対応してまいります。

HPS Cでは現在、外部来訪者、職員への施設の入館に対しては、入館時にマスクの着用、手指のアルコール消毒、サーモグラフィーによる検温を行い、チェックシートによる前2週間の体調管理等を行っています。

また、日常的に新型コロナウイルス感染症予防対策に対応した清掃・消毒作業や感染防止策を行っています。

今後も感染拡大防止と、施設利用者、関係者、職員の安全確保を最優先に運営を行ってまいります。

以上